

開幕

第二回 ラブレターについて語らう茶話会

Presented by ラブレター研究会（仮）

注意事項

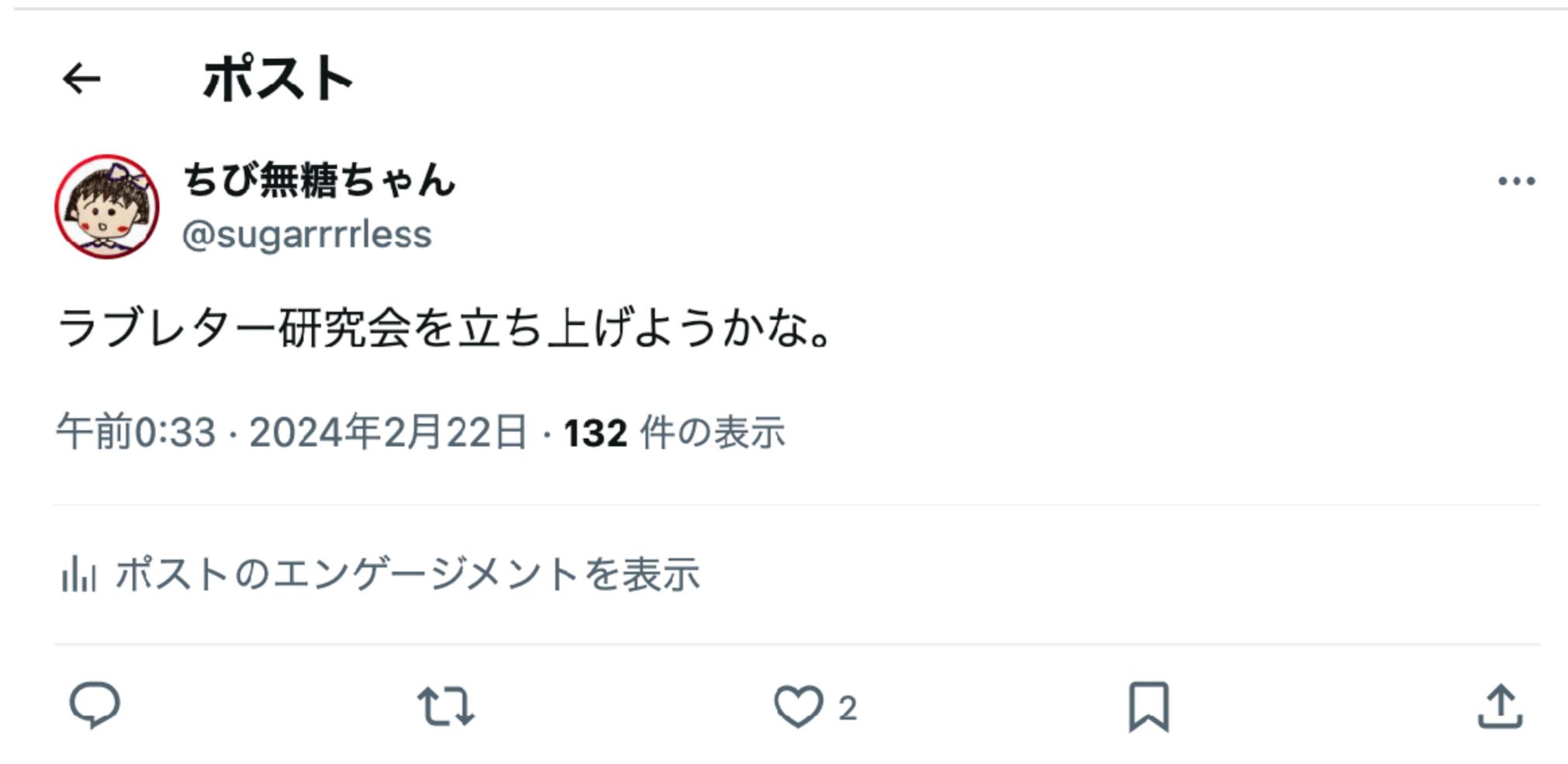
- 飲酒は禁止です
- たばこも禁止です
- ネットに生配信も禁止です
- 写真撮影くらいはOKです（他参加者のプライバシーへの配慮をよろしく）

注意事項

- コミュニケーションを強いるプログラムになっていきます
- 相手がいやがっていたら無理強いはしないでください
- かといって他人を拒絶しまくりだと企画が成立しないので警戒心強めの方は警戒をゆるめる方法などを考えながら取り組んでください
- まあうまいことやってくれ

「ラブレター研究会（仮）」とは

- 持続的な共同制作を夢みた武藤がなんとなくつけた名称



「ラブレター研究会（仮）」とは

- ラブレター

ある主体に変容を強いるメディア一般の象徴、とりわけ状況に何らかの破局をもたらすもの

- 研究会

ある主題に対し複数人が時間をかけて検討と試行を重ねる共同制作の場

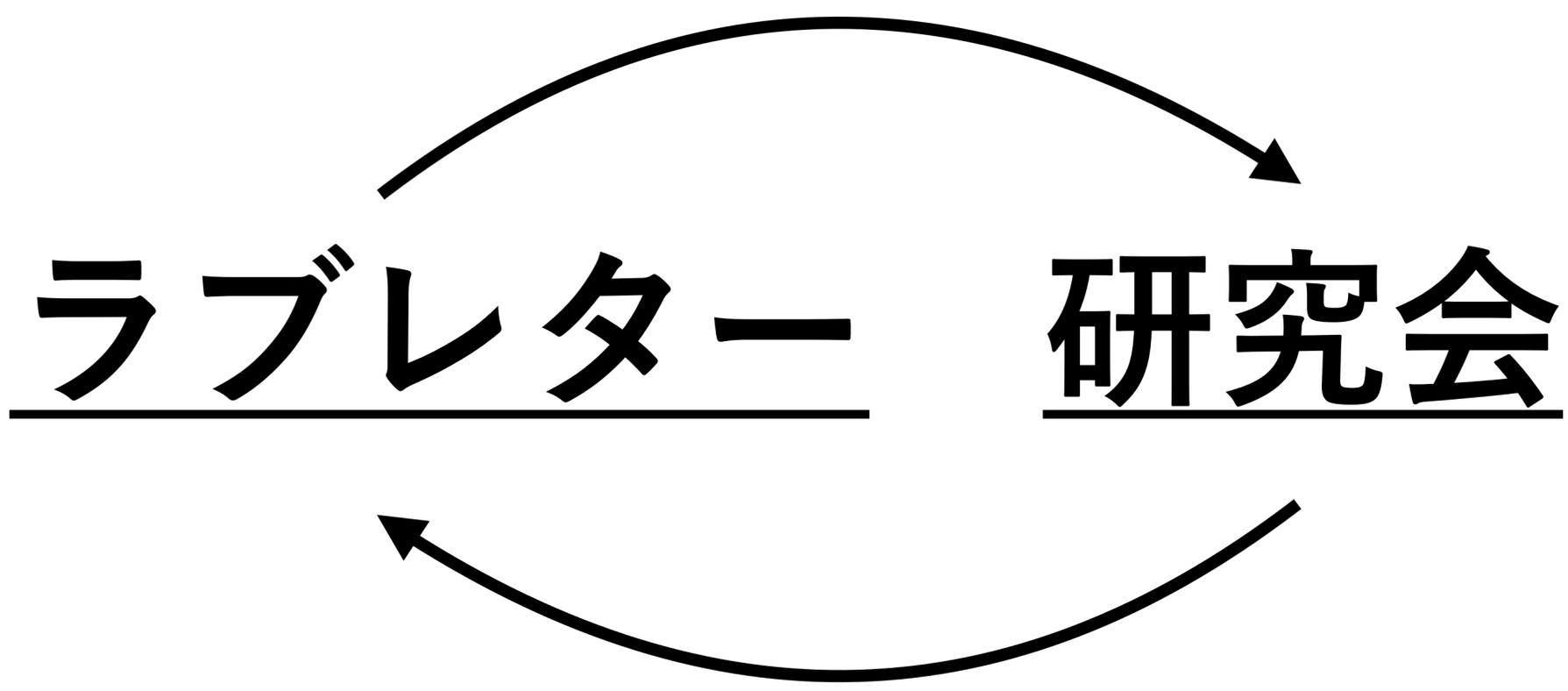
- ラブレターが持つ共同制作的な側面

複数の主体の相互干渉を重ねることで互いに変容すること

「ラブレター研究会（仮）」とは

ラブレターを主題に討論する場

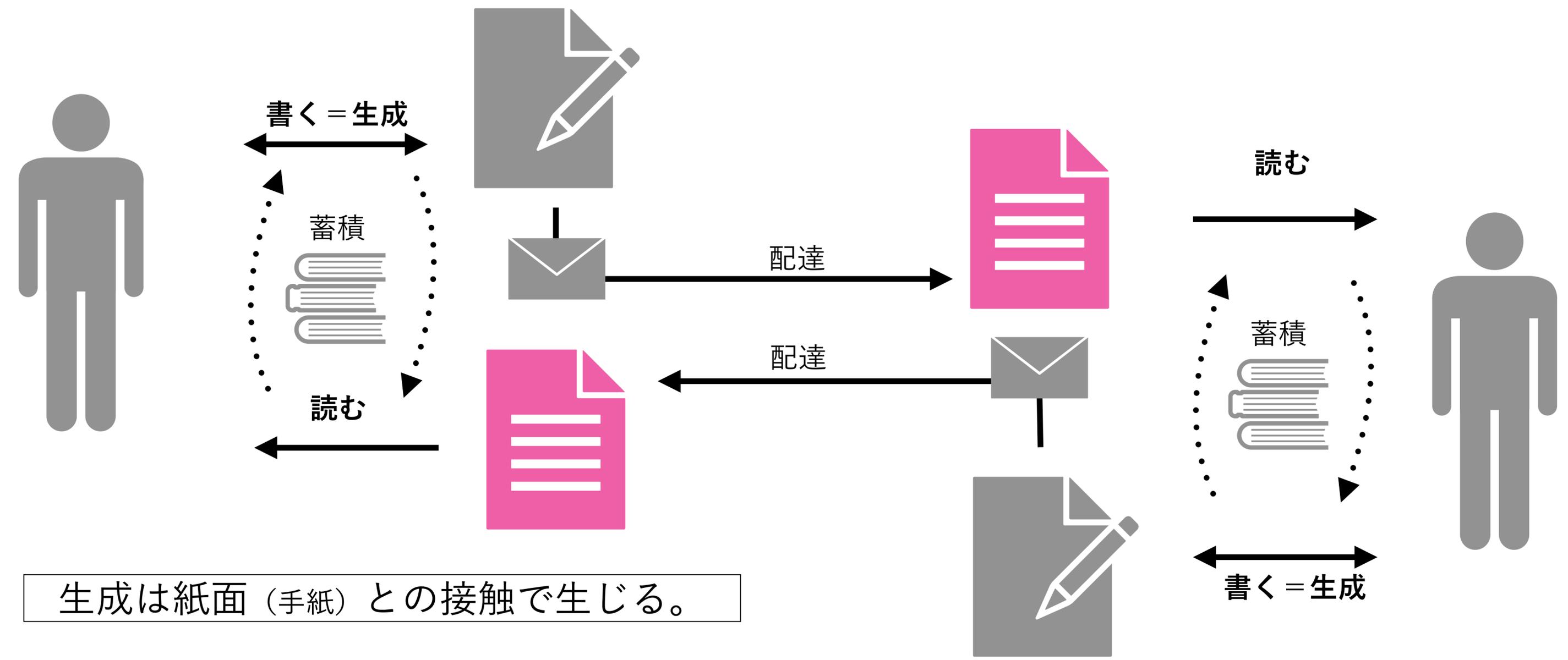
ラブレター 研究会

A diagram consisting of two curved arrows forming a circle. The top arrow points from 'ラブレター' to '研究会', and the bottom arrow points from '研究会' back to 'ラブレター'. Both terms are underlined.

場における営み自体がラブレター

2-5 面を見る、面に触れる

■ 生成モードとしての手紙 (図)



生成は紙面 (手紙) との接触で生じる。

手紙に呼びかけられる不安 書かれた私と書く私についての考察

「ラブレター研究会（仮）」とは

といっても共同で活動しうる同志がいないので、ひとまず「ラブレターについて語らう茶話会」と題して主題だけ残しつつ広く議論を行う機会として設定。

「ラブレターについて語らう茶話会」 とは

- 第1回：検証編

実際ラブレターを中心に据えてどんな議論が展開できるかわからなかったなので可能性を探るためにとりあえずブレスト

- 第2回：試行編（今回）

実際にいろいろ試しながら使えるものを探す

制作プロセスの開発

＝制作主体をとりまく環境の制作

＝ラブレターの書き方の探究

参加者の皆さんへのお願い

- 使えるもの
- 使えないもの
- 使うためには補う必要があるもの . . .

などを考えながら技術の開発の芽を探って行ってください

参加者の皆さんへのお願い

- ぎゃくにいうと、あらかじめわかりきった欲望を満たすために完成品は用意されていません。
- そこに期待されても困ります🙄
- ただし、サービス精神がゼロなのもそれはそれで恐れ入るので、せめてもの思いでいい感じのお茶を用意しています

本日のお茶

ほうじ茶 やぶきた (丸七製茶)

日本でもっとも人気のやぶきた種はその渋味、旨味、香気のバランスが良く、日本のお茶の産業発展とともに全国各地に広がり、今も圧倒的な栽培面積を誇ります。ほうじ茶は太陽の陽射しをしっかりと浴びた露地ものを一度105℃前後の強火で元火を入れて貯蔵し、焙煎の火が通り易くなるように半年以上枯らします。最後に再び本火を入れて抜けるような心地よい香りを引き出します。自家焙煎したての茶葉の香りを閉じ込めるように直ぐに抽出して作りました。茶葉は京都府南部の独特な山手の香りを感じるものを使用しました。



次第

シノプシス

- I. 私のからだを相手に向けてひらく
- II. 相手を私のからだに受け入れる
- III. 私が相手に書き換えられるのを見届ける
- IV. 相手が私を書き換えるのを見届ける

ストラクチャー

	I	II	III	IV
0.開幕	2.自認	10.誤配	12.可能世界	15.再演
1.試演	3.気配	11.訂正	13.回帰 1	16.回帰 2
	4.存在 1		14.俯瞰	17.終幕
	5.信頼			
	6.呼びかけ			
	7.名指し 1			
	8.名指し 2			
	9.存在 2			

次第

- 0.開幕
- 1.試演

導入

I

- 2.自認
- 3.気配
- 4.存在 1
- 5.信頼
- 6.呼びかけ
- 7.名指し 1
- 8.名指し 2
- 9.存在 2

準備体操

II

- 10.誤配
- 11.訂正

III

- 12.可能世界
- 13.再帰 1
- 14.俯瞰

ディスカッション

IV

- 15.再演
- 16.再帰 2
- 17.終幕

発表

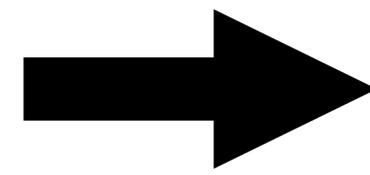
本日の最終目標

即興演劇

(15.再演)

本日の最終目標：即興演劇

演じる対象



自分

本日の最終目標：即興演劇

- 0.開幕
- 1.試演

導入

I

- 2.自認
- 3.気配
- 4.存在 1
- 5.信頼
- 6.呼びかけ
- 7.名指し 1
- 8.名指し 2
- 9.存在 2

準備体操

II

- 10.誤配
- 11.訂正

ディスカッション

III

- 12.可能世界
- 13.回帰 1
- 14.俯瞰

IV

- 15.再演
- 16.回帰 2
- 17.終幕

発表

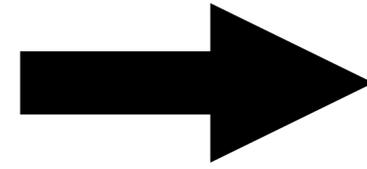
話し合いを反復するかたちで発表

本日の最終目標：即興演劇

一般的な発表



議論

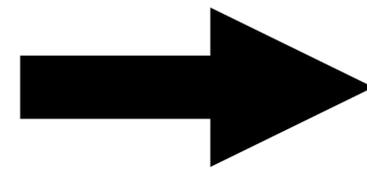


代表者が要約した内容を
聴衆に向けて話す

再演としての
発表



議論



全員で議論を再現して
聴衆は話し合いを見る

本日の最終目標：即興演劇

再演といっても

- 話し合いの様子を1から10まで繰り返す必要はない
- 要点を再現できればよい
- じぶんの発言や思ったこと・気づいたことをあらためて述べるくらいの気持ちでOK
- まあお気楽に

本日の題材

ラブレターの手書き出し

本日の題材：ラブレターの書き出し

1.試演

ラブレターの冒頭1～3行を試しに書いてみる

本日の題材：ラブレターの書き出し

書く



読む



とりまく諸々